



▲「里の秋ひえつき」をPRするグループひえつきの会員

## お菓子「里の秋ひえつき」が優秀賞

2月6日～8日、宮崎市で県女性農村加工起業グループ支援強化事業の加工品コンクールが行われました。これは、起業をめざす女性グループの支援を目的に、県などが主催したものです。

本村から、昨年の特産品コンクール「菓子部門」で最優秀賞となった干し柿を使ったお菓子「里の秋ひえつき」(グループひえつき作)を出品。ボンベルタ橘で実施した一般買い物客の試食採点方式による一次審査を踏まえて、さらに食品開発の専門家らによる最終審査が行われました。結果、「里の秋ひえつき」が優秀賞に選ばれ、今後商品開発から販売までの一貫した支援を受けることが決定しました。



▲研究発表を行った尾前一日出さん

## 十根川・大久保集落の研究発表

3月6日、日本民家集落博物館(大阪府豊中市)で住居に関する研究発表会が行われ、十根川・大久保を守る会の尾前一日出さんが「重要伝統的建造物群保存地区における古民家の再生と活用～宮崎県椎葉村十根川集落の現状と課題～」と題して発表しました。発表会には、十根川・大久保を守る会の会員の方々も参加。終了後、日本民家集落博物館・大阪府文化財センター職員や博物館友の会の方々との交流会も行われました。翌日、同博物館学芸員、吹田歴史文化まちづくり協会の方の案内により、近代和風の建物や旧庄屋屋敷を改修したまちづくりセンターも見学。今後、十根川・大久保地区の地域づくりに生かされる意義深い研修となったようです。



▲春空のもとグラウンドゴルフを楽しむ参加者

## ニュースポーツ祭を開催

3月6日、椎葉小グラウンドでニュースポーツ祭「グラウンドゴルフ大会」が行われ、村民40人が参加しました。この大会は、村体育指導員協議会が主催したもので、幅広い年齢層で楽しめる同競技を通して、健全な健康づくりと交流を目的に毎年行われています。

参加者は、体育指導員の方々によって作られた9ホールに挑戦。春めいた陽気の中、相次ぐホールインワンや珍プレーに笑い声や声援が響き渡りました。なお、大会では松岡貞見さん(上椎葉中2)が優勝しました。

## 教育研究論文表彰式

3月9日、村開発センターで平成16年度椎葉村教育研究論文の表彰式が行われました。これは、村内各小中学校の教職員を対象に、教育全般に関することで個人が研究した内容を論文として募集したものです。

教育委員会や各学校長が審査した結果、尾辻礼子教諭(不土野小)の主体的に課題に取り組む児童の育成～合科的な指導「森林の働きと私たちの暮らし」の実践を通して～が最優秀賞となる村長賞を受賞しました。



▲村長賞を受賞した尾辻礼子教諭(不土野小)

